



日・タジキスタン外交関係樹立 30 周年記念・
和太鼓コンサート in ドウシャンベ & フジャンド



在タジキスタン日本国大使館は、タジキスタン政府及びソグド州政府の協力の下、10月26日にアカシャリフ・ジュラエフ名称国立フィルハーモニー（ドウシャンベ市）において、同27日にカモリ・フジャンディ名称国立劇場（ソグド州フジャンド市）において、日本の和太鼓グループ「彩」の来訪を得て、日・タジキスタン外交関係樹立30周年記念・和太鼓コンサートを開催しました。

ドウシャンベ公演には、マヌチェフル・シャリフゾダ文化省次官をはじめとするタジキスタン政府関係者、当地駐在外交団・国際機関関係者及びドウシャンベ市民ら約900人が来場しました。また、日本大使館としてドウシャンベ市以外では初めての大型日本文化イベントとなったフジャンド公演には、ザイヌラ・アジミ・ソグド州副知事やフィールーザ・ヌルロゾダ・フジャンド副市長のほかフジャンド市民ら約600人が来場しました。

相木大使は、それぞれの公演の冒頭で、日本は貴重なパートナーであるタジキスタンとの互恵的な関係をあらゆる分野で強化、発展させるべく引き続き努力していく旨表明するとともに、今回の公演がタジキスタンと日本の両国民の文化交流にとって実り多いものとなることを期待すると挨拶しました。

コンサートでは、「彩」のメンバー5人が和太鼓や能管と呼ばれる横笛などを使って12曲を披露しました。ドウシャンベのフィルハーモニー、フジャンドの国立劇場共に超満員となった観客席からは歓声や拍手が沸き起こり、公演はスタンディングオベーションのうちに幕を閉じました。



10月26日・ジュラエフ名称国立フィルハーモニー（ドゥシャンベ市）



10月27日・フジャンディ名称国立劇場（フジャンド市）

